

1 めぐる芸術文化振興プラン改定素案に対するパブリックコメントの実施結果について

(1) パブリックコメントの概要について

めぐる芸術文化振興プランの改定にあたり、令和7年10月15日から11月17日までめぐる芸術文化振興プラン改定素案に対するご意見を募集しました。これは、平成21年2月25日制定の「目黒区パブリックコメント手続要綱」に基づくパブリックコメントとして実施したものです。

お寄せいただいたご意見とそれに対応する検討結果をパブリックコメントの実施結果としてまとめています。なお、長文にわたるものや重複、具体的な名称等は、趣旨を損なわない範囲で一部省略、追記、要約または分割している場合があります。

(2) 意見募集期間 令和7年10月15日（水） から 11月17日（月） まで

(3) 周知方法 ア 掲載場所 めぐる区報（令和7年11月1日号）、区公式ウェブサイト、X、LINE

イ 配布・閲覧場所 目黒区総合庁舎本館1階 文化・交流課、地区サービス事務所（東部地区を除く）、各住区センター、各区立図書館、めぐるパーシモンホール、目黒区美術館

(4) 意見提出者数

区分	種 別					計	
	オンラインフォーム	郵送	窓口	メール	ファクス		
個人	提出者	8	0	1	1	0	10
	(意見数)	(24)	(0)	(3)	(4)	(0)	(31)
団体	提出者	0	0	0	0	0	0
	(意見数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
議会	提出者	0	0	0	1	0	1
	(意見数)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)	(2)
計	提出者	8	0	1	2	0	11
	(意見数)	(24)	(0)	(3)	(6)	(0)	(33)

(5) 対応区分別件数

番号	内容	計
1	意見の趣旨を踏まえてめぐる芸術文化振興プラン素案を修正します。	1
2	意見の趣旨はめぐる芸術文化振興プラン案に取り上げており、趣旨に沿って取り組みます。	7
3	意見の趣旨はめぐる芸術文化振興プラン案には取り上げませんが、事業実施等の中で趣旨を踏まえて努力します。	8
4	意見の趣旨は、今後の検討・研究の課題とします。	17
5	意見の趣旨に沿うことは困難です。	0
6	意見の趣旨を関係機関・団体に伝達します。	0
7	その他	0
合計		33

2 パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

番号	区分	種別	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
0001	個人	電子	区の所有権ある建物、施設は区が運営、ただし、経験のある業者を公募し選定し運営。 同時に、区施設のスクラップ、ビルドの推進を求める。	3	現在、めぐろパーシモンホール・中目黒GTプラザホール・目黒区美術館につきましては、指定管理制度を活用し、「公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団」が管理運営を行っているところです。指定管理者運営評価委員会においては、高い評価を得ており、今後も安定かつ質の高い管理運営ができるよう、管理・監督に努めます。 また、区有施設につきましては、区有施設見直し方針及び計画に基づき様々な取組を進め、施設の有効活用や施設のあり方の見直しを行っております。	文化・交流課 資産経営課
0002	個人	電子	目黒らしい落語、歌舞伎、バレエ、など所縁のある文化、芸術の常設館を企画してほしい。	4	常設館を整備していく方針や計画の策定は現時点では予定しておりませんが、既存の施設を活用して目黒区らしい文化・芸術の企画・運営を行うことについては引き続き実施いたします。	文化・交流課 資産経営課
0003	個人	電子	消防、警察、自衛隊、の各種発表の場を中立な立場で提供するの也有可能かと考える。	4	引き続き、公正中立な貸館業務を進めるとともに、各主催者との後援・共催等について慎重に取り組んでいきます。	文化・交流課
0004	個人	電子	意識調査において子どもに芸術文化に触れあうことを希望するが高得点を示しており、今後教育委員会との連携で鑑賞事業や体験事業を進めることを盛り込むこと。	2	子どもたちが芸術文化に触れる機会が望まれていることが意識調査から読み取ることができました。子どもたちに向けた鑑賞機会や体験機会の拡充について、今後も関係所管と連携して取り組んでいきます。	文化・交流課 教育指導課
0005	個人	電子	子どもたちが目黒区の郷土史に触れ、学べるようにめぐろ歴史資料館との連携事業を進めることなどを振興プランに追加すること。	2	めぐろ歴史資料館との連携事業については、第4章の施策に盛り込んでいるデジタルミュージアムの活用を含め、子どもたちが目黒区の郷土史について学ぶことのできるような取組について、今後も関係所管と連携して推進していきます。	文化・交流課 生涯学習課
0006	個人	電子	今後も区内の高齢者は増加傾向にあると思われる。高齢者が参加できるイベントや実践機会を拡充して社会的、心理的フレイル防止に寄与できるのではないか。	3	高齢者の参加機会の拡充を目的とした取組を通じて、結果的にフレイル防止に寄与できるよう、今後も関係所管と連携して検討していきます。	文化・交流課 高齢福祉課
0007	個人	電子	目黒区行政各部署が連携するために庁舎内においても文化縁の形成が必要だと考える。それを通じて文化縁という概念の区民への普及を目指すことを記載してほしい。	2	第5章「1 推進体制」に記載のあるとおり、区の部署間における横断的な連携に取り組んでいきます。	文化・交流課

2 パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

番号	区分	種別	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
0008	個人	電子	子どもたちがホールや美術館を実際に訪れる機会が少ないと感じる。音楽自体ではなく、まず訪れたホールの舞台や客席の様子やその裏側に興味を持つこともある。本計画案の中でも、子どものための音楽祭や音楽鑑賞会の実施、親子参加型芸術文化事業の実施、区立文化施設の見学事業など、芸術に触れるきっかけとなる事業を検討していると見受けられた。それらを実施する際に同時に、ホールの裏側や仕組みを探検するツアーなどを開催することを検討してほしい。音楽鑑賞会などで直接興味を持ってくれることは素晴らしいが、別の視点から興味を持ってもらう取組をしてほしい。例えば、来場者のないホールの舞台や客席の観察や、ホールの音を響かせる工夫についての紹介など。普段とは違うホールの景色を体験することで、それが音楽を始めるきっかけや、その空間を作ること、そこに立つことに興味を持つことに繋がると考える。新たな設備購入などの必要もなく、職員や区内ボランティアをガイドとすることで対応可能かと考える。	2	引き続き、子どもたちを含む、様々な世代の方々へ向けて、芸術文化に興味を持っていただけるような企画を様々な視点から検討していきます。	文化・交流課
0009	個人	メール	定性的な文章の羅列で、何を伝えたいのかわからない。特に第2章—2以降の調査結果は、グラフや表を適切に記載することによって格段に読みやすくなると思われる。	1	第2章の調査結果をまとめたものにつきまして、グラフ等を用いて掲載いたします。	文化・交流課
0010	個人	メール	郷土の伝統文化として目黒ばやしを取り上げているが、目黒が誇るめぐろパーシモンホール大ホールでは、図書館へ響くとの理由で太鼓の演奏が禁止されている。年に1回でも目黒ばやしを大ホールで演奏できる日を設けてほしい。	4	めぐろパーシモンホールの所在地である区民キャンパスは図書館や体育館等もある複合施設となっており、他の利用者への影響を考慮する必要があることから、これまでも利用可能な内容に制限を設けてきました。今後も他の施設利用者に配慮したホール運営を行ってまいります。	文化・交流課
0011	個人	メール	目黒区立美術館は建物自体も評価が高く、開催される企画展も地味ながら工夫された内容が度々新聞等で紹介され、通好みの美術館として知られている。交通の便の悪さというハンディがありながら、健闘していると言える。しかるに白紙となった区民センター一帯の再開発プランでは、美術館を取り壊し、タワーマンション内の貸しホール的な施設にするとの計画で、目黒区の芸術音痴ぶりがTVなどでも取り上げられた。今回のプランでは、芸術文化のまちなか展開が目標1に掲げられているが、その基点としても今の区立美術館の建物と学芸員は不可欠である。区立美術館を運営する学芸員の質の高さが、区庁舎内で正当に評価されていないのではないかと心を痛めている。	4	芸術文化振興の推進に当たり、人的資源、経営資源を適切に活用していくことが必要不可欠であることと認識しております。また、指定管理者運営評価委員会での美術館への評価については、高い得点を維持しており、特に優れた管理運営ができていますと認識しています。今後、関係所管と連携して芸術文化のまちなか展開を推進していきます。	文化・交流課
0012	個人	メール	意見提出用紙を電子データで提供するなら、入力内容はそのまま送信できるのが常識だ。送信ボタンがないことに誰も違和感を感じないほど、区のシステムはDXが遅れているという事に愕然とする。	4	意見提出の手段については、意見提出用紙を作成の上、郵送、持参、ファックス、メールで提出できる他に、オンライン提出フォームでの申請方法も設けており、オンライン提出フォームでのご提出も多くの方にご利用いただきました。	文化・交流課

2 パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

番号	区分	種別	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
0013	個人	電子	プランの総論はとても美しく、全て実現できたら素晴らしいという内容かと思うので、より具体的な方向性、施策を区民に教えてほしい。 総論に異議を唱える方は恐らくあまりいないと思う。ただ、この内容をどのように実現していくのか考えた時、具体的に想像できない区民がほとんどなのではないかと思う。 ・プランの具体的内容の提示 住民に開かれた活動、アウトリーチ、学校との連携、社会包摂、国籍等、様々な方面に向けた活動を行うようだが、具体的な活動内容をまず教えてほしい。	2	本プランにおける各種取組につきましては、第4章「2 施策の推進」において、具体的な施策を記載しております。	文化・交流課
0014	個人	電子	・物理的環境整備 物価高を受け美術館を含む目黒区の再整備の計画が中断しているが、中断するのではあれば、今の設備をいかして延命する計画を早急に検討してほしい。 もし再整備となるなら、美術館の必要機能は確実に保持しつつ、バリアフリーや障害のある方への対応設備、プランを実現するための仕掛けも含め足りない部分を補う計画を検討してほしい。	4	目黒区美術館の建て替えは、新たな目黒区民センター整備・運営事業の中で検討してはいたしましたが、建設費等の高騰を背景とした事業費の増加が判明し、今後の学校施設の更新等に係る経費負担を考慮した持続可能な行財政運営を見据えた総合的な判断として、当初の公募条件での事業を中止し、再検討することとしました。再検討に当たっては、建設費等が高騰する時勢を捉えた持続可能な施設サービスのあり方、機能融合や複合化・多機能化といった縮充の推進による区民サービスの向上、区有資産の有効活用の更なる推進等、あらためて区有施設見直しのリーディングプロジェクトとして、多角的な視点をもって検討を行います。	文化・交流課 資産経営課
0015	個人	電子	・学校教育の中での当プランの位置づけ検討 23区のすべての区で、区立の美術館があるわけではないため、目黒区美術館は区に根差す貴重な美術館である。 通常の美術館活動に加え、区内の小学校は必ず何年生かで目黒区美術館に行って、鑑賞体験や制作体験を実施するなど、教育プログラムとの連動は検討の価値があると考えます。子ども達が必ず美術館にいった作品を鑑賞する、作品を制作する機会があることは、アンケートにおける関心度の低さへの対応策になると考える。	2	子どもたちに向けた鑑賞機会や体験機会の拡充について、今後も関係所管と連携して取り組んでいきます。	文化・交流課 教育指導課
0016	個人	電子	・経営資源的環境整備 学校教育との連携、区民との連携(アウトリーチ)、社会包摂等、それらに伴う体制の強化検討が必要と考える。 人的(美術館の職員、ボランティア、NPO等)資源の適切配置に加え、区からの適切な財源の配賦、移動手段の確保等、具体的に検討が必要と考える。 何か活動するには必ず人物金がかかるので、プランの具体化と共に経営資源の投入も検討してほしい。	3	芸術文化振興の推進に当たり、人的資源、経営資源を適切に活用していくことが必要不可欠であることと認識しています。今後、関係所管と連携して体制強化に向けて取り組んでいきます。	文化・交流課
0017	個人	電子	・循環成長できるしくみづくり 物理的環境、経営資源が整備されたら、それをうまく運用していき、検証、改善していくことを検討する体制が必要と考える。 常に利用者の意見を収集しつつ、有効な施策を打って検証し、ブラッシュアップ、拡大していくことを検討し続ける体制が必要かと思う。	3	区の各部署間で横断的な取組を推進してだけでなく、多様な関係者間で情報共有・意見交換を積極的に行い、検証・改善を実施していけるような体制整備に向けて、引き続き検討していきます。	文化・交流課

2 パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

番号	区分	種別	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
0018	個人	電子	パーシモンホールの予約が全くとれなくなってきた。区で確保している件数が多すぎて、がっかりしている。区のイベントで音楽系ではないものは区役所の大会議を使ってもらいたい。	4	区の事業としてパーシモンホールを確保している件数につきましては、必要最小限になるように努めているところです。 お寄せいただいたご意見については参考にさせていただき、利用者の方々にとってご利用しやすい施設を目指していきます。	文化・交流課
0019	個人	電子	区は目黒区民センター再開発の名のもとに、一体開発と称して目黒区美術館の建物を壊すという案を検討している。このまま美術館を残すと維持するのに今後130億円の費用がかかるとも説明しているが、この数字はなんら根拠のない。そもそもこれまでの38年間で、区は美術館の修繕にはたった5,500万円しかかけていない。その間、野党区議によって区民センターを含めた修繕の必要性が指摘されていたにも関わらず、青木長期政権はほとんど何もしていない。美術館の建物の維持管理に今後いくらかかるのかを、この度の区民センター建設費の上振れも読めなかったようなPwCのようなデベロッパー当事者ではなく、第3者機関による具体性を持った数字で公開してほしい。 そもそもPwCは、区の従来の一団開発案に対して報酬を7年間で4億900万円ももらっていることが、区民が情報開示を求めて明らかにされている。このことを区はもっと区民に知らせるべき。既に全国からテレビや新聞、SNS等で目黒区美術館の解体問題は注目を浴びている。万一この公立美術館の建物を壊すことになれば、日本初ということで、区も区議会も大きな批判を免れず、後世に汚点を残すことにもなる。美術館は建築家が100年を見据えて建てると言われている。区は地下の設備が老朽化していると言うが、これも修繕したり改修したりすれば済むこと。浸水の心配も言われているが、これまで一度たりとも水が入ったことはなく、そもそも川から一番離れた小高い場所に建っている。	4	目黒区美術館の建て替えは、新たな目黒区民センター整備・運営事業の中で検討しておりましたが、建設費等の高騰を背景とした事業費の増加が判明し、今後の学校施設の更新等に係る経費負担を考慮した持続可能な行財政運営を見据えた総合的な判断として、当初の公募条件での事業を中止し、再検討することとしました。再検討に当たっては、建設費等が高騰する時勢を捉えた持続可能な施設サービスのあり方、機能融合や複合化・多機能化といった縮充の推進による区民サービスの向上、区有資産の有効活用の更なる推進等、あらためて区有施設見直しのリーディングプロジェクトとして、多角的な視点をもって検討を行います。	文化・交流課 資産経営課
0020	個人	電子	賑わいを生むために美術館をビルに入れて他の施設と一緒にして運営するのは良い方法ではない。美術館は独立した建物として天井が高く、ゆったりした空間であるから、素晴らしく値打ちがある。また美術館の収蔵品をビルや公園に展示するものならない。それは博物館法で禁じられている。温度や湿度の管理、盗難、汚損の恐れがあるからである。どうしても美術館に人を呼びたいければ、区は美術館の運営に対して予算をもっとつけなくてはならない。区はお金を増やすどころか、どんどん削っていて、美術館の運営は難しくなっている。企画展の図録さえお金が不足して出せないでいる。 区は桜祭りのようなイベントには多大なお金をつぎ込むのに、文化に対する予算は少なくしている。	4	目黒区美術館については、新たな目黒区民センター整備・運営事業の当初の公募条件での実施中止に伴い、現在、建て替えを含む様々な手法について再検討を行っているところです。 再検討に当たっては、美術館としての必要な機能や収蔵品の適切な管理は当然のことながら維持していくものであり、また、多くの方に美術作品や芸術に触れ、興味を持っていただけるよう、限られた予算の中で工夫を凝らした運営や環境づくりも必要と考えております。検討期間中においても、収蔵品の保護に必要な温湿度管理や建物の維持管理を適切に行い、利用者の安全性と美術品の保存に努めていきます。	文化・交流課 資産経営課

2 パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

番号	区分	種別	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
0021	個人	電子	美術館を万一にでも解体して新しいビルに入れるとすると、6年間くらいは閉鎖ということになる。目黒の子どもたち展や子供のためのワークショップがその間出来ない。これは小学校1年生が6年生になるまで一度も目黒の美術館に行けないということ。こうした美術教育の機会を奪ってはならない。この美術館を利用した過去のべ100万人以上という人々にも大きな心理的ショックがあるだろう。万一解体するとなれば、解体費用は高騰している上に、コンクリートのがれきの山を運び出すために大型車両が出入りし、お年寄りや子供たち、地域住民に及ぼす影響は甚大で、工事の騒音もひどくそれが長く続くだろう。担当の区議、委員が考えているほど簡単なことではない。そもそも美術館の建物を壊すことは、区民の多くが望んでいることではなく、それを区や多くの議員が主導して進めるという考えそのものが問題で、まさにそこを各マスコミは問題にして、現在取り上げているのである。	4	目黒区美術館の建て替えは、新たな目黒区民センター整備・運営事業の中で検討していましたが、建設費等の高騰を背景とした事業費の増加が判明し、今後の学校施設の更新等に係る経費負担を考慮した持続可能な行財政運営を見据えた総合的な判断として、当初の公募条件での事業を中止し、再検討することとしました。再検討に当たっては、建設費等が高騰する時勢を捉えた持続可能な施設サービスのあり方、機能融合や複合化・多機能化といった縮充の推進による区民サービスの向上、区有資産の有効活用の更なる推進等、あらためて区有施設見直しのリーディングプロジェクトとして、多角的な視点をもって検討を行います。また、工事等で建物が使用できない期間がある場合であっても、アウトリーチ活動を充実させる予定で、展示等のイベントやワークショップ等については、代替の場所等の検討を重ねていきます。	文化・交流課 資産経営課
0022	個人	電子	美術館に人を呼び込む方法として、例えばアートブックフェアなどのイベントをして、個人や企業にブースを持たせ、来場者と直接交流しながら彼らが制作した書籍の売買をする方法がある。東京都現代美術館はこの方法で多くの人を呼び込んだ。美術館運営の資金が足りないのならば、例えば美術館の企画、運営、維持のためにクラウドファンディングなどをしてはどうか。100万円以上集めた例が多々あり、アートブックフェアのためのクラウドファンディングならもっとお金は集まるだろう。	4	アートブックフェアとは、独創的なアートブックを制作する国内外の出版社、ギャラリー、アーティストら出展者が美術館等の会場に集結し、それぞれの印刷物の魅力を直接来場者へと伝えるイベントであると認識しております。目黒区美術館においては、アートブックフェアの実施の実績はなく、現段階では新規事業としての実施も予定しておりません。目黒区美術館としては、「芸術文化活動の拠点として、誰もが身近で気軽に芸術文化に触れ、親しむとともに、自らが芸術文化活動に参加できるよう、『文化縁』の形成、充実を図る」という運営方針のもと、今後の事業計画を検討していきます。その他、にぎわいを呼ぶ手法の一つとして周年行事を美術館としては検討しております。例として35周年の際に、今まで作成してきた図録やグッズを周年事業記念として割引価格で販売するような試み等で美術館に人を呼び込むような検討を行っているところです。今後も様々な手法を検討・実施し、人を呼び込む結果に繋げられるよう努めていきます。	文化・交流課 資産経営課
0023	個人	電子	抽象的に広報物等で言葉で説明されても、どのような建物を区が想定しているのかわからないので、建物の計画案を出すときに、区民に一目で分かるようなグラフィックのイラストや図を示してほしい。	4	広報等の情報発信を行う際には、区民の皆様へのわかりやすい方法に努めていきます。	文化・交流課 資産経営課

2 パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

番号	区分	種別	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
0024	個人	電子	美術館はただ人が大勢来て、賑わえば良いというものではなく、今の独立した建物で、ひっそりしているから芸術に親しめるということもある。この建物を壊して、ビルの中に入れるなどとは考えないでほしい。日本建築家協会からも壊すなという提言書が出ていることを軽く見ないでほしい。	4	目黒区美術館については、新たな目黒区民センター整備・運営事業の当初の公募条件での実施中止に伴い、現在、建て替えを含む様々な手法について再検討を行っているところです。 また、区では、文化芸術活動の振興に向け、多くの方が美術や芸術に触れる機会を増やし、裾野を広げる取組を進めること、さらに文化芸術活動を通じて多様な人々とのつながりを醸成していくことが重要と認識しております。 いただいたご意見は、こうした視点も踏まえ、今後の再検討の参考にさせていただきます。	文化・交流課 資産経営課
0025	個人	電子	区民センターも美術館もこれまで大規模な修繕をしてきていない。もっと修繕して大事に使うことを考えるべき。助成金目当てに、いくら国や都がお金を出してくれるかと言って、建物を壊して民間と手を結びビルに建て替えるというのは間違い。目黒区は独自のやり方を取るという勇断をしてほしい。専門の建築家の意見をもっと聞いてほしい。修繕のやり方もバリアフリーに変えるのもどんどん良いものが出て来ているとの事。	4	目黒区美術館の建て替えは、新たな目黒区民センター整備・運営事業の中で検討しておりましたが、建設費等の高騰を背景とした事業費の増加が判明し、今後の学校施設の更新等に係る経費負担を考慮した持続可能な行財政運営を見据えた総合的な判断として、当初の公募条件での事業を中止し、再検討することとしました。再検討に当たっては、建設費等が高騰する時勢を捉えた持続可能な施設サービスのあり方、機能融合や複合化・多機能化といった縮充の推進による区民サービスの向上、区有資産の有効活用の更なる推進等、あらためて区有施設見直しのリーディングプロジェクトとして、多角的な視点をもって検討を行います。	文化・交流課 資産経営課
0026	個人	電子	もし美術館に人が大勢来ないことが問題だというならば、もっと予算を増やしてほしい。そうすれば充実した展覧会、パンフレット作成、宣伝もできる。区はやたらにお祭りをするが、その分の予算を芸術に向け、どうしても美術館に人を呼びたいければ、アートブックフェアをするなど方法はある。	4	アートブックフェアとは、独創的なアートブックを制作する国内外の出版社、ギャラリー、アーティストら出展者が美術館等の会場に集結し、それぞれの印刷物の魅力を直接来場者へと伝えるイベントであると認識しております。目黒区美術館においては、アートブックフェアの実施の実績はなく、現段階では新規事業としての実施も予定しておりません。 目黒区美術館としては、「芸術文化活動の拠点として、誰もが身近で気軽に芸術文化に触れ、親しむとともに、自らが芸術文化活動に参加できるよう、『文化縁』の形成、充実を図る」という運営方針のもと、今後の事業計画を検討していきます。 その他、にぎわいを呼ぶ手法の一つとして周年行事を美術館としては検討しております。例として35周年の際に、今まで作成してきた図録やグッズを周年事業記念として割引価格で販売するような試み等で美術館に人を呼び込むような検討を行っているところです。 今後も様々な手法を検討・実施し、人を呼び込む結果に繋げられるよう努めていきます。	文化・交流課 資産経営課
0027	個人	電子	区民センター、美術館、公園、プールなどをすべて壊すと、その瓦礫を運び出すのに大型車両がたくさん来る。とても危険で、また長い間美術館等が閉まるということになり、子どもたちにとっても良くないことである。	4	新たな目黒区民センター整備・運営事業の当初の公募要件での実施中止に伴い、現在、建て替えを含む様々な手法について再検討を行っているところです。再検討に当たっては、建て替え等の手法を含め、工事車両動線等においても検討をしていきます。 施設の利用者、近隣の皆様、将来の区施設のあり方等それぞれへの影響を検討しながら、より良い手法を検討していきます。	文化・交流課 資産経営課

2 パブリックコメントで寄せられた意見と検討結果

番号	区分	種別	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)	所管
0028	個人	書面	教育の分野との連携について 目黒区美術館は開館後、すばらしい展示と豊かな教育普及活動を展開してきたと評価している。この数年、目黒区の公立学校(小学校)の授業時間の設定等が変わり、美術館への教育活動として訪れる機会が極端に減ったため、すべての子どもたちに鑑賞体験の機会を教育機関と連携して提供してほしい。	2	子どもたちが芸術文化に触れる機会が望まれていることが意識調査から読み取ることができました。子どもたちに向けた鑑賞機会や体験機会の拡充について、今後も関係所管と連携して取り組んでいきます。	文化・交流課 教育指導課
0029	個人	書面	観光・まちづくり等の分野との連携について 今後の展開の中で単に観光化へ向かい、長く守られてきた地域の良さが失われる事のないよう心より願う。思いつきだけでない長期的に街の未来を考えたまちづくりを住民と共に考えてほしい。	3	日常生活の中で誰もが身近に芸術文化に触れることができるまちづくりを目指しており、区民の皆様にもご理解いただきたいと考えております。その取組が結果的に魅力あるまちづくりに寄与できるよう進めていきます。	文化・交流課
0030	個人	書面	今後の推進について 今後、プランを推進するに係る予算の具体化や人材育成等の多くの課題についての対応を計画だけで終わらせず実現してほしい。一区民として、目黒区が心豊かな生活と活力ある地域社会となるよう推進することを願う。	3	芸術文化振興の推進に当たり、人的資源、経営資源を適切に活用していくことが必要不可欠であることと認識しています。今後、関係所管と連携して体制強化に向けて取り組んでいきます。	文化・交流課
0031	議会	メール	全体的な位置づけの意見 他の自治体で表現の自由への弾圧、政治的な介入や攻撃が多発している。行政として個人や団体の表現の自由を保障すること(芸術・文化に関する区民の企画や展示内容に対する表現の自由を保障すること)。また広報を含めて内心の自由や表現の自由を侵害することがないよう務めること。	3	権利保障については、今後も関係所管・関係団体において適切に対応していきます。	文化・交流課
0032	議会	メール	25頁 第3章 芸術文化プランの基本的な考え方 2. 芸術文化振興の目標 【基本目標2】 芸術文化活動に親しむことが出来る環境整備について 区として芸術文化は公的な支援として位置づけ、美術館、歴史資料館、区民センターなど芸術・文化の拠点は縮小せずしっかり確保すること、芸術文化振興財団の人員確保、専門職員の育成について区として責任をもち、財政支援を行うこと。	3	芸術文化振興の推進に当たり、人的資源、経営資源を適切に活用していくことが必要不可欠であることと認識しています。今後、関係所管と連携して体制強化に向けて取り組んでいきます。	文化・交流課
0033	個人	電子	現計画にある、(4) 区立芸術文化施設のさらなる活用中、目黒区美術館に係る記述のうち、「時の経過とともに施設が老朽化しつつあり、今後策定される区有施設見直し計画などを踏まえたうえで、必要な維持管理等を行い長寿命化を図るとともに、区の宝としてさらなる活用を図ります」は削除しないこと。 目黒区美術館は現在のまま残すこと。	4	計画内の文言については、平成17年度改定時点での記述であり、時代・状況の変化に合わせて内容を更新していく必要があります。現時点で未確定な要素については表記できませんので、ご理解の程よろしくお願いたします。 また、目黒区美術館については、新たな目黒区民センター整備・運営事業の当初の公募条件での実施中止に伴い、現在、建て替えを含む様々な手法について再検討を行っているところです。	文化・交流課 資産経営課